

問題

次の文章は「小学校に英語を導入すべきか」について論じたものです。これを読んで後の問に答えなさい。なお問題の文章の順序は入れ替えてあります。

1. (663頁最初から664頁上段10行目まで)
2. (665頁最初から最後まで)
3. (662頁最初から最後まで)
4. (664頁上段12行目から最後まで)

(公表用問題の作成のための注)

大津由起雄「小学校に英語は要らないー『早期教育で勝ち組』は大いなる幻想である」文藝春秋編『日本の論点2006』(2005年・文藝春秋)662頁から665頁を、文章の順序を入れ替えて出題しました。ただし、小見出しを削除し、原文の注は、2から5を、1から4として付しました。

問1. 各番号の記載された文章に小見出しをつけるとしたら、どの見出しがつきますか。各文章の番号を記載したうえ、次のaからgの中から選び記載しなさい。

- a. 決まり文句が話せるだけでは意味がない
- b. 英語学習におけるルサンチマン
- c. 言語教育の実現こそが重要
- d. なぜ多くの親が英語必修化を望むのか
- e. イマージョン教育などの問題点
- f. 母語の獲得と外国語の学習は別
- g. これまでの英語教育の問題点

問2. この文章は、もとの文章の順序を入れ替えてある。正しく入れ替えると各番号を付した文章の順番はどのようになるか。答案用紙に、正しい文章の順序を記入しなさい。

→→→

問3. この小論文につき次の問に答えなさい。

1. 小学校からの早期英語教育を導入しようとし、あるいはこれに賛成する者の論拠として筆者が想定するものを5つ箇条書きにしなさい。
2. 筆者が早期英語教育に反対する理由を600字程度で書きなさい。

問4. 問3をふまえ、筆者に賛成するのか、反対するのか、あるいはどちらでもないのか、あなたの考えとその理由を700～800字程度で書きなさい。